

&lt;第89回調査&gt;

2016年10月31日

**【本調査の目的】**

2009年6月の第1回調査を皮切りに、(株)外為どっとコムは口座開設者のお客様を対象として、「投資動向等に関するアンケート調査」を毎月定期的を実施していましたが、2010年8月の第15回調査より、その名称を「外為短期投資動向調査(略称:外為短観)」に改めました。本レポートは、同調査の結果に基づき、(株)外為どっとコム総合研究所がその一部を取りまとめるという形で対外的に公表するものです。

近年の外国為替市場において、本邦の外国為替保証金取引への関心が強まっているのは周知の通りですが、その実像を把握するのに必要な統計データ等の整備は、既存のマクロ経済データや金融関連データなどに比べて遅れているのが実情です。今後こうした調査を継続的に実施することで、時系列で比較した個人投資家層の相場感の変化や投資家属性別の投資動向の特徴などを精査し、当社の調査研究活動の深化につなげるとともに、その一部を社会に還元することが、本調査の目的です。

また、本調査におきましては、国内外の市場参加者が注目する各種イベント前後の時期に、不定期のアンケート調査の結果も公表いたします。定点観測の調査結果と合わせて、ご参考にして頂ければ幸いです。

**【調査実施期間】**

2016年10月18日(火)13:00～2016年10月25日(火)13:00  
※毎月中旬から下旬にかけての1週間を調査期間としています。

**【調査対象】**

(株)外為どっとコムの『外貨ネクストネオ』に口座を開設のお客様層

**【調査方法】**

(株)外為どっとコムの口座開設者にメールでアンケート回答URLを送付。  
今回の有効回答数は677件。  
※必要項目を全て入力して回答して頂いたお客様を「有効回答数」としました。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

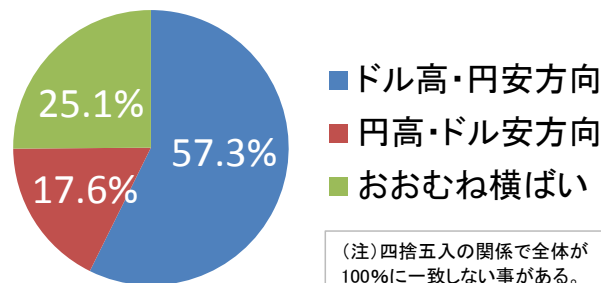
## 【第89回調査結果略報：ドル強気・円弱気の見方が急増】

### 問1：今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の見通し」については、「ドル高・円安方向」と答えた割合が57.3%であったのに対し「円高・ドル安方向」と答えた割合は17.6%となった。この結果「米ドル/円予想DI」は+39.7%ポイントと、2カ月連続のマイナスDIから切り返し、今年もっとも高い水準となった。調査期間中の米ドル/円相場は、104円ちょうどを挟んでの揉みあいが続いていたが、米国の12月利上げに対する織り込みが徐々に進んだこと、また、米大統領選挙において共和党のトランプ氏の劣勢が伝えられる中で「トランプ大統領リスク」に対する警戒感が緩んだことなどがドル強気見通しに繋がっている可能性がある。

※過去の米ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。

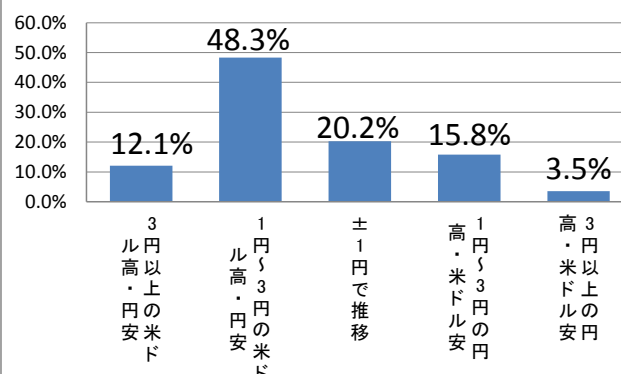
今後1カ月間の米ドル/円相場の見通しについてお答えください



### 問2：今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください

「今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レート」については、「1円～3円の米ドル高・円安」が48.3%と最も多く、「±1円で推移」が20.2%と続いた。さらに「1円～3円の円高・米ドル安」が15.8%、「3円以上の米ドル高・円安」が12.1%と続き、「3円以上の円高・米ドル安」は3.5%に留まった。ヒストグラムの形状は、ドル強気・円弱気見通しに傾いており、問1の結果とも整合的と言えるだろう。

今後1カ月間の米ドル/円相場の予想レートについてお答えください



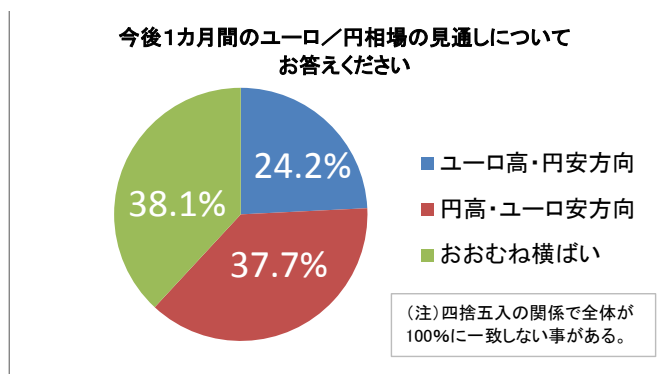
本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

### 問3: 今後1カ月間のユーロ/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間のユーロ/円相場の見通し」については、「ユーロ高・円安方向」と答えた割合が24.2%であったのに対し、「円高・ユーロ安方向」と答えた割合が37.7%であった。この結果、「ユーロ/円予想DI」は▼13.5%ポイントと、14カ月連続のマイナスDIとなった。DIは前回調査(▼14.2%ポイント)からやや縮小したが、ほぼ同じ水準と言える。調査期間中のユーロ/円相場は、英国の「ハードブレグジット懸念」が和らぎ、ユーロ/ポンドでポンド高・ユーロ安が進んだ影響や、欧州中銀(ECB)のドラギ総裁が定例記者会見で「(理事会では)量的緩和縮小についての議論をしなかった」と発言した事を受けたユーロ売りに押されて軟調だった。この様子を見たFX投資家がユーロ弱気予想を維持したものと考えられる。

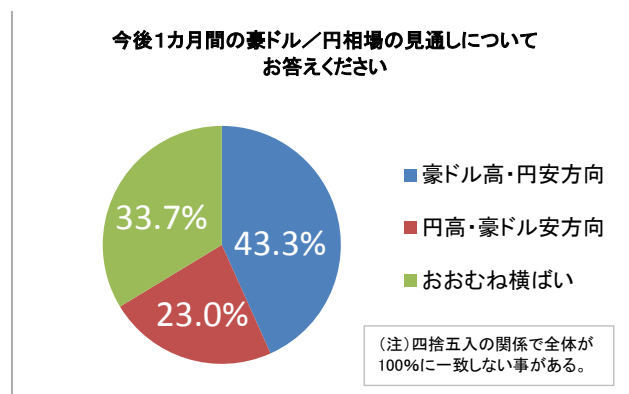
※過去のユーロ円予想DIの推移はP7-8に掲載。



### 問4: 今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通しについてお答えください

「今後1カ月間の豪ドル/円相場の見通し」については、「豪ドル高・円安方向」と答えた割合が43.3%であったのに対し、「円高・豪ドル安方向」と答えた割合は23.0%であった。この結果「豪ドル/円予想DI」は+20.3%ポイントとなり、前回調査(▼7.0%ポイント)からプラスDIに切り返した。調査期間中の豪ドル/円相場は80円ちょうど付近で頭を押さえられたものの、一方で79円を割り込むと下支えられるなど、9月から考えると高い水準で推移した。豪中銀(RBA)は金融政策について据え置き姿勢を示し続けており、FX投資家の見方も徐々に豪ドル強気のものへシフトした可能性がある。

※過去の豪ドル円予想DIの推移はP7-8に掲載。

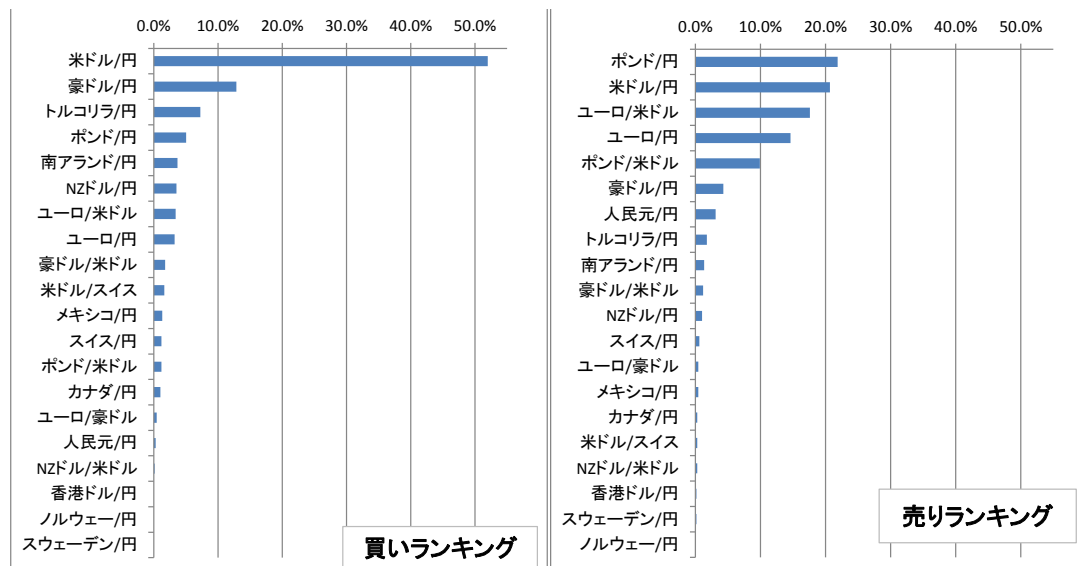


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

問5: 今後、注目の通貨ペアについてお答えください

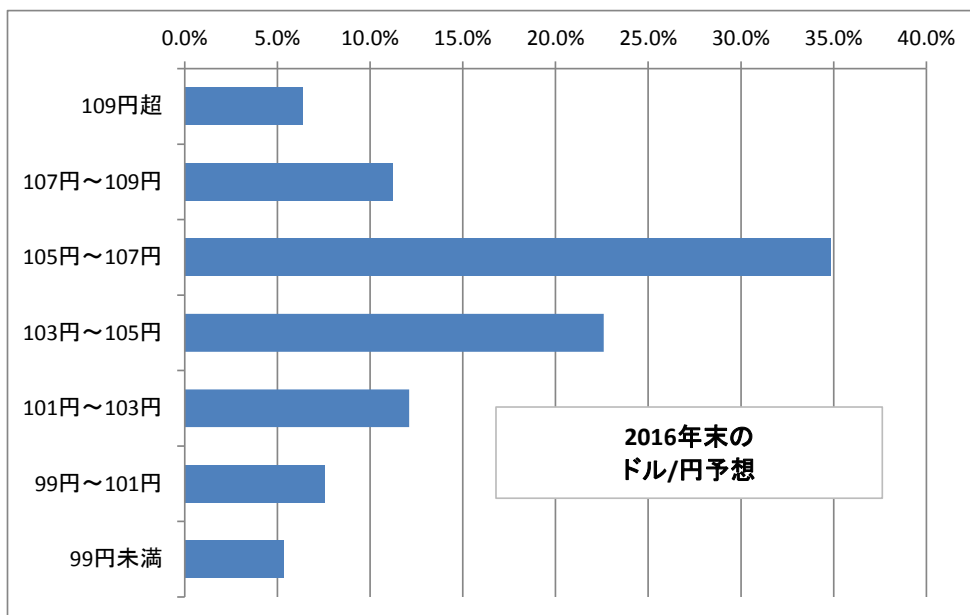
「今後注目している通貨ペア」について尋ねたところ、「買い」で注目の通貨ペアは、米ドル/円が52.0%の回答割合を集めて1位となった。以下、2位に豪ドル/円(12.9%)、3位にトルコリラ/円(7.2%)、4位ポンド/円(5.0%)、5位南アランド/円(3.7%)と続いた。一方、「売り」で注目の通貨ペアは、1位がポンド/円(21.9%)、2位ドル/円(20.7%)、3位ユーロ/ドル(17.6%)、4位ユーロ/円(14.6%)、5位ポンド/ドル(9.9%)となった。「買い」で注目のランキングは米ドル/円が49カ月に渡り1位の座を独占し、2位以下に圧倒的な大差を付けた。一方、「売り」で注目のランキングはポンド/円が7月調査以来、2度目の1位となった。「ブレグジット(英国のEU離脱)」が再び市場の材料となった事で、ポンドを売り対象としてみるFX投資家が増えたと見られる。ただし、「売り」に関しては2位以下との差は大きくはない。ブレグジットに関しては長期戦が予想されるため、ポンド売りに圧倒的人気が集まる、というのはなかなか難しいと言える事、そして欧州中銀(ECB)の緩和継続見通しから欧州通貨に売りバイアスが掛かっている事などから、FX投資家の人気分散したと見られる。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

## 問6: 2016年12月31日ニューヨーククローズ時点のドル/円の予想レートをお答えください(ひとつだけ)

今回の特別質問として、「2016年12月31日ニューヨーククローズ時点のドル/円の予想レートをお答えください(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「105円～107円」と答えた割合が34.9%と最も多かった。続いて、「103円～105円(22.6%)」、「101円～103円(12.1%)」、「107円～109円(11.2%)」との結果になった。調査期間の水準からするとややドル高・円安方向を見ているFX投資家が多いものの、ドル/円の大幅上昇を見込む向きは少ないようだ。なお、理由を自由記述形式で尋ねたところ、調査期間中の水準(104円前後)よりもドル高・円安方向で見ているFX投資家層は、アメリカの利上げや、米大統領選でのクリントン氏の勝利の可能性が高い事などを理由に挙げる向きが多かった。一方、調査期間中の水準よりもドル安・円高方向で見ているFX投資家層の意見からは、米大統領選が無難に終わって市場に安心感が広がったとしてもドルを継続的に買うほどにはならない、との見方が目立った。さらに、「米国が年内の利上げを行わない可能性」を指摘し、米経済に対する市場の楽観的な見方を疑問視する声も多く見られた。

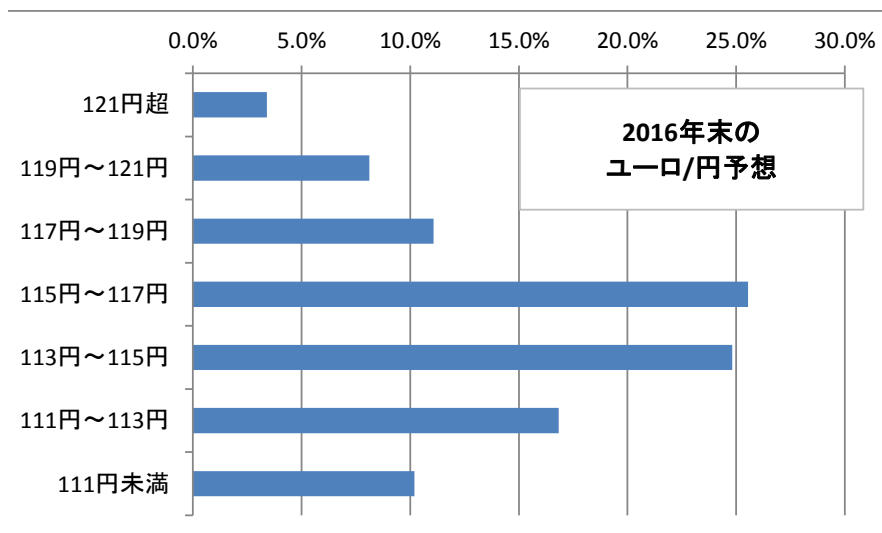


本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

**問7: 2016年12月31日ニューヨーククローズ時点のユーロ/円の予想レートをお答えください(ひとつだけ)**

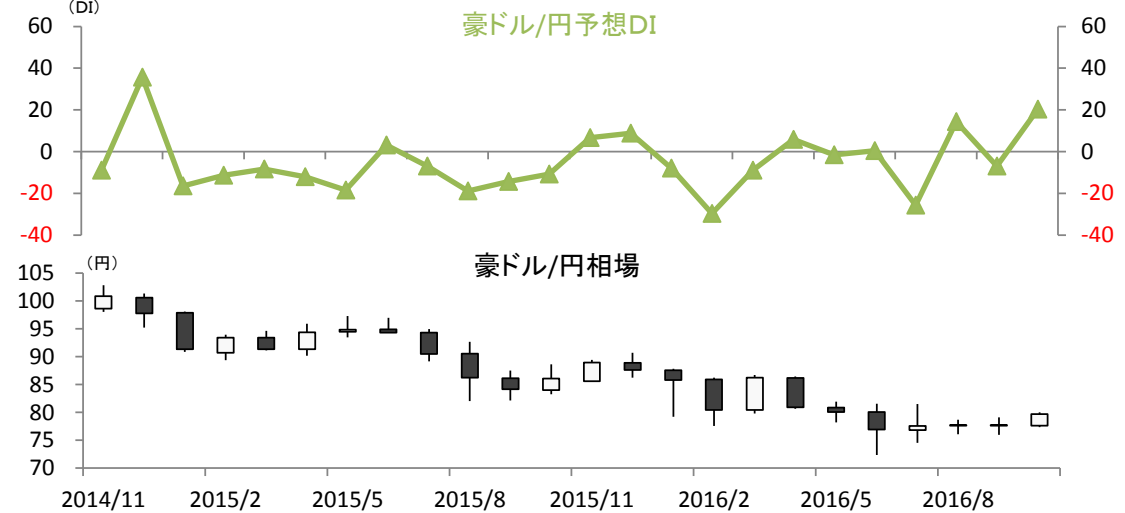
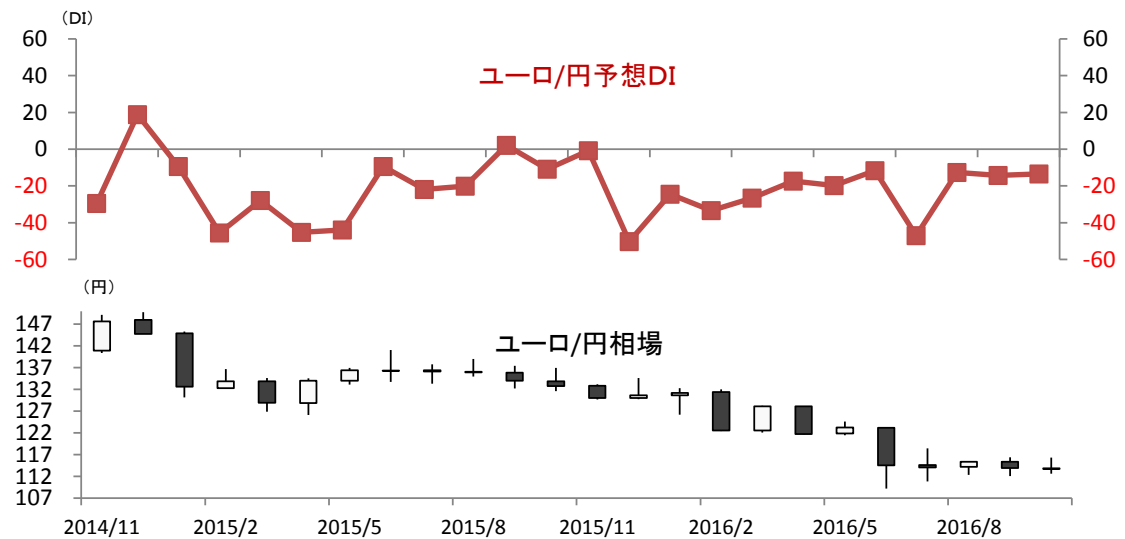
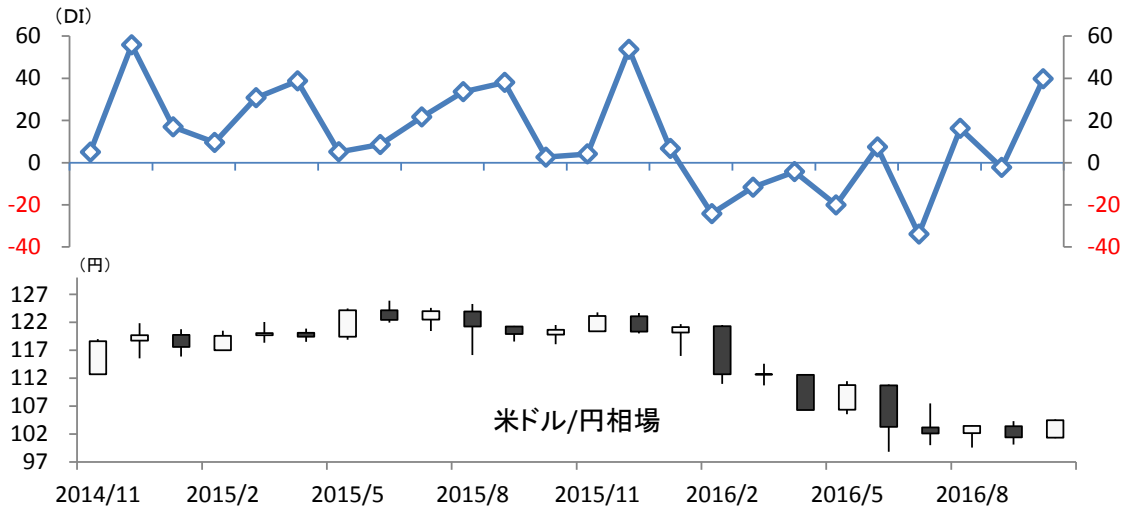
今回のもうひとつの特別質問項目として、「2016年12月31日ニューヨーククローズ時点のユーロ/円の予想レートをお答えください(ひとつだけ)」と尋ねたところ、「115円～117円」が25.6%と最も多く、僅差で「113円～115円(24.8%)」と続き、次いで「111円～113円(16.8%)」、「117円～119円(11.1%)」、「111円未満(10.2%)」という順になった。総じてみると、調査期間中の水準(112.60円前後～114.60円台)よりもややユーロ高・円安の水準を予想するFX投資家が多かった。理由を自由記述形式で尋ねたところ、調査期間中の水準よりもユーロ高・円安方向で見ているFX投資家からは、「米国の利上げや米大統領選を通過した後のドル/円の上昇に連動」と、ユーロが積極的に買われるというシナリオはほとんど見られなかった。一方、調査期間中の水準よりもユーロ安・円高方向で見ているFX投資家からは、ユーロ圏の緩和継続や欧州金融機関の経営懸念、英国のEU離脱による悪影響の懸念などを理由として挙げる声が多かった。



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

【付表:主要3通貨ペア予想DIと足の推移】



本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com



## 【今後の調査実施計画及び公表方針】

本調査も第89回目となりました。調査開始から7年以上が経過し、データの蓄積が進んできました。今後については、毎月定点観測で実施する調査結果を基に、予想DIの時系列比較から見出せるFX投資家の相場観の変化やその傾向などのほか、中長期的な視点に基づいたFX投資家の投資スタイルの変化などの考察も進めて行きたいと考えています。

なお、毎月の本調査においては、公表扱いとしている質問項目及び回答結果の他に、「投資家の属性」、「取引頻度」、「取引規模」、「取引時間帯」、「投資選好」など、投資家実態を把握するために必要な各種の質問項目も設けて集計しています。それらの回答結果を用いた投資家の実態報告や属性別のクロス・セクション分析等については、当研究所が1年に1回、毎年中央以降に公表する「外為白書」で紹介する予定です。

## 【付表：主要3通貨ペア予想DIの推移】

		米ドル/円			ユーロ/円			豪ドル/円		
		米ドル高	米ドル安	DI	ユーロ高	ユーロ安	DI	豪ドル高	豪ドル安	DI
2014年	11月	70.0	14.2	55.8	43.0	24.1	18.9	54.0	18.4	35.6
	12月	48.9	32.0	16.9	28.8	38.2	-9.4	26.9	43.4	-16.5
2015年	1月	39.3	29.7	9.6	15.1	60.6	-45.5	26.2	37.5	-11.3
	2月	46.8	16.1	30.7	19.7	47.5	-27.8	26.4	34.8	-8.4
	3月	52.3	13.6	38.7	15.2	60.5	-45.3	21.8	33.9	-12.1
	4月	31.4	26.3	5.1	15.1	59.0	-43.9	23.4	41.9	-18.5
	5月	29.1	20.5	8.6	31.0	40.4	-9.4	32.2	29.1	3.1
	6月	43.5	21.9	21.6	25.4	47.2	-21.8	24.3	31.3	-7.0
	7月	49.1	15.5	33.6	23.6	43.7	-20.1	22.8	41.7	-18.9
	8月	51.1	13.1	38.0	30.9	28.8	2.1	24.1	38.5	-14.4
	9月	37.1	34.5	2.6	24.9	35.8	-10.9	29.9	40.7	-10.8
	10月	30.3	26.2	4.1	30.3	31.1	-0.8	39.6	33.0	6.6
	11月	67.3	13.6	53.7	11.1	61.4	-50.3	34.4	25.6	8.8
	12月	43.8	37.1	6.7	19.7	44.1	-24.4	30.5	38.4	-7.9
2016年	1月	27.3	51.5	-24.2	19.2	52.6	-33.4	22.8	52.5	-29.7
	2月	34.7	46.3	-11.6	22.5	49.0	-26.5	32.3	41.3	-9.0
	3月	33.3	37.6	-4.3	24.8	42.1	-17.3	37.6	31.8	5.8
	4月	30.2	50.2	-20.0	24.2	43.9	-19.7	34.2	35.7	-1.5
	5月	40.8	33.4	7.4	22.6	38.2	-11.6	35.7	35.3	0.4
	6月	26.3	60.2	-33.9	20.0	67.0	-47.0	24.8	50.5	-25.7
	7月	48.3	32.1	16.2	32.1	44.7	-12.6	44.2	29.8	14.4
	8月	26.5	48.9	-22.4	17.2	48.1	-30.9	25.9	40.2	-14.3
	9月	34.5	36.8	-2.3	23.8	38.0	-14.2	28.4	35.4	-7.0
	10月	57.3	17.6	39.7	24.2	37.7	-13.5	43.3	23.0	20.3

(出所)外為どっとコム総合研究所

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2016 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com